



執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com
新の会は青梅市で1、昭島市で1、瑞穂町で1の計4人がそれぞれ立候補を予定する。

議員の成り手不足 25区でも顕著に

自民は無風の選挙戦の中で、堅実に看板地盤選挙を展開。公明は統一教会の問題で選挙活動への影響が懸念されたが、市町村議選はこれまで国政選挙のような活発な活動は

見せている。都民ファーストの会の6人も日本維新の会の4人も、一部が当落線上で厳しい戦いとなっているものの、全員当選の可能性も出てきた。ただ、全員当選したとしても議員数では自民、公明に遠く及ばない。それでも青梅市議会の市民フォーラム

産廃施設 将来に渡り 不可かを問う選挙に

だが、産廃施設建設の申請が取り下げられたことが11日判明した。主な理由は「焼却施設に必要な水の確保ができない」というものだ。村は昨年5月に「事業者から水道水の供給を要求されても応じられない」との意見書を都知事に提出して

東京25ジャーナル3月4日号で記者は「東京の奥座敷、村の将来にとって豊かな自然は、坂本氏、吉本氏も含め全村民が宝であるとの認識は共通したものだ。その自然のただ中に産業廃棄物焼却場はまったく異質なものだ。高度成長期、村の基

統一地方選 23日投票 25区内 都ファ、維新全員当選か

自民、公明堅実 共産に取りこぼしも

統一地方選の後半戦は16日(町村は18日)告示される。東京25区管内では、青梅(定数24、福生(同19)、羽村(同18)、昭島(同22)、瑞穂(同16)、檜原(同8)の市町村議選と檜原村長選が実施される。立候補予定者は青梅市を除き定数を1、2人超える程度と低調。投票率の低さも懸念される。投票は23日に行われ、即日開票される。檜原村長選は現新一騎打ちになるが、産廃施設建設の申請が取り下げられ、争点が消えたように思われる。だが、むしろ将来に渡り村内に産廃施設建設は不可かを問う選挙になったと言える。

前半戦は41道府県議選などが10日に開票され、日本維新の会の躍進が目立った。単独過半数を得た大阪府議選をはじめ関西地区での強さが際立ったが、首都圏でも地力を見せた。投票率の低さもあって組織力を持つ自民、公明は堅実な戦いぶりを見せた反面、低投票率では強いはずの共産が振るわなかった。立憲民主などのリベラル勢力は伸び悩んだ。

両党は改革保守政党と位置付けられ、直近では非公に代わる勢力として期待され、国政で野党第一党にある立憲民主をしのぐ勢いを

見せている。都民ファーストの会の6人も日本維新の会の4人も、一部が当落線上で厳しい戦いとなっているものの、全員当選の可能性も出てきた。ただ、全員当選したとしても議員数では自民、公明に遠く及ばない。それでも青梅市議会の市民フォーラム

檜原村長選現新一騎打ちへ

檜原村長選は現職で6選を目指す坂本義次氏(78)が自民、公明の推薦を受け立候補、新人で元村総務課長の吉本昂二氏(70)は「人里地区への産業廃棄物焼却場建設計画の断固阻止」を掲げ、檜原村の産廃施設に反対する連絡協議会会員らに強く推されて立った。

だが、産廃施設建設の申請が取り下げられたことが11日判明した。主な理由は「焼却施設に必要な水の確保ができない」というものだ。村は昨年5月に「事業者から水道水の供給を要求されても応じられない」との意見書を都知事に提出して

ならびに村長選の争点は何か。将来に渡って村内には産廃施設建設は不可かを問うべきだ。第一声で吉本氏は将来に渡り、建設は許さないと訴えるだろう。対して、坂本氏や応援演説に入る議員らから、同じように将来に渡って不可との声が出るかが注目される。出れば、争点は村の諸課題に移ることになる。

幹産業として碎石を容認した時と今では時代が違ふ。記者は環境主義者でもなんでもないが、今のそしてこれからの村に産業廃棄物焼却場のような施設ができるのは大きなマイナスと感ずる」と記した。かつては首長選の公約に五日市線の複線化が大きく踊った。今は複線化に言及する人はいない。大阪万博の目玉の1つに空飛ぶクルマの実証実験がある。10数年後、空飛ぶ車の時代を迎えるとするれば、都庁と西多摩は20分、30分で結ばれる。檜原村や奥多摩町の価値が飛躍的に上がる。その価値とは豊かな自然に他ならない。

戸建住宅にお住まいの方 超高速インターネット光回線
ケーブルテレビは「テレビ」だけじゃない!
tnet光2.5G 初期設定 遠隔サポート 安心サービス 出張訪問 0円!
最大通信速度 下り 約2.5 Gbps / 上り 約1.25 Gbps
TCN 多摩ケーブルネットワーク 0428-32-1351